

令和7年度 清田中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：35501

実 態	「学ぶ力」	
	これまでの 成果	課 題
	◇全国学力・学習状況調査、札幌市の共通指標、生徒アンケートから、学習の振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じる生徒が増えている。 ◇全国学力・学習状況調査、札幌市の ICT の活用に係るアンケートから、ICT を意欲的に活用し、課題解決のために自分で情報を集め、気付いたことを学習に取り入れたり、友達の意見を進んで知ろうとしたりする生徒が増えている。 ◇札幌市の共通指標、生徒アンケートから、対話的な学びにおいて他者の意見を聞き、自分の意見との比較や見直し、修正できる生徒が増えている。	◇全国学力・学習状況調査、札幌市の共通指標、生徒アンケートから、振り返ったことを次に生かし、目標を立てて学習に取り組むことが十分ではないという実態を捉えることができる。 ◇全国学力・学習状況調査や札幌市の共通指標から、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と考える生徒が少ない傾向がある。 ◇札幌市の共通指標、生徒アンケートから、自分の意見を進んで伝え、多様な意見のやり取りから、新たな視点の獲得や考えの深化が出来る生徒が少ない傾向がある。
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の態度〉の現状と課題	
	◇全国学力・学習状況調査、札幌市の共通指標「自分にはよいところがある」の肯定的回答は増加傾向にあり、様々な学習活動を通じて自己肯定感は高まってきていると考えられるが、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と考える生徒が少ない傾向がある。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図りながら、課題解決に向けて意欲的に自分の考えをもち、互いに考えを聞き合い、認め合う中で、自己有用感や他者受容感を高めていくことが重要と考える。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自分の考えをもち、豊かに表現する力

取 組	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
	◇研究副主題「学び合う授業づくり」の実現 ⇒意欲を高める課題設定の工夫 ⇒学び合いによる、考え、表現する力の育成 ⇒聴き合う集団作り ⇒研究の土台となる学習環境の整備、ユニバーサルデザインの視点、基本的な ICT 活用 	◇創意ある生徒会活動を土台とした「自立を目指す清中生」の育成 →協働学習を通して、自己効力感や他者受容感の育成を図る。 →よりよい学校にするため、学校生活の不十分な点について、自浄効果を高める日常活動に取り組む。 ◇自分たちの生活を振り返る場の設定 →各学級の短学活での毎日の振り返り →全校共通の学習手帳による振り返り

〈本プログラムの実行に向けて〉

